

医学研究実施のお知らせ

埼玉医科大学病院 IRB（臨床研究における倫理審査を行う委員会）の審査を受け、以下の研究を実施しております。

研究の対象となる方（または代理人の方）で、この研究計画について詳しくお知りになりたい場合、又はこの研究に試料や情報を利用することをご了承いただけない場合は、下記【問い合わせ先】へご照会ください。2024年3月31日までにご連絡をお願い致します。この期日を超過した場合、あなたの情報を削除できない可能性が発生します。あらかじめご了承下さい。

【研究課題名】 リハビリテーション治療を施行した急性散在性脳脊髄炎患者のリハビリテーション経過と機能的予後の検討について

【研究の概要】

研究の目的

リハビリテーション治療を施行した、急性散在性脳脊髄炎(Acute Disseminated encephalomyelitis; ADEM)患者のリハビリテーション経過と機能的予後について調査・検討することを目的とします。

研究期間

承認日 ~ 2025年3月31日まで、研究の実施を予定しています。

対象となる方等

調査対象となる期間：2007年1月1日 ~ 2022年4月30日

対象となる患者さん：当院脳神経内科またはリハビリテーション科に入院し、リハビリテーション治療を施行した、18歳以上90歳以下の急性散在性脳脊髄炎の患者さん

対象となる患者さんの数：20例

研究に利用する試料、情報等

試料：なし

情報：年齢、性別、症状出現から医療機関受診までの日数、当院入院までの日数、当院入院日数、リハ開始日数、リハ施行日数、画像所見、治療内容、極期の症状(意識障害の有無・呼吸器装着の有無)、極期の感覚障害及び運動機能障害、リハ介入時の感覚障害及び運動機能障害、当院退院時の感覚障害及び運動機能障害、リハ開始時の上下肢筋力(MMT)と退院時の上下肢筋力(MMT)、歩行練習開始までの日数、自立歩行獲得の日数、入院時排尿障害の有無と状態、退院時排尿障害の有無と状態、尿道カテーテル留置の有無と期間、間欠導尿施行の有無。間欠導尿開始病日と終了病日、自己導尿施行の有無と開始病日、自尿出現病日、排尿障害消失までの期間、リハ開始時のADL(FIM)と移動能力、退院時のADL(FIM)と移動能力、転帰(退院または転院など)。

(該当する場合のみ)他の機関(検査会社等含む)へ試料や情報等を提供する場合

試料・情報を提供する方法

該当なし

【問い合わせ先(対応時間：平日 9:00 ~ 17:00)】

埼玉医科大学病院 リハビリテーション科

研究責任者：篠田 裕介

電話：049-276-1339

利用する情報等からは、氏名、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は削除致します。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用致しません。